



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年(1963年)12月6日 会長：西村郁夫／副会長：樋田克史

例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：永井伸治

編集：広報会報委員会

例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com

稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>

事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）

電話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2014-2015 R.I 会長
ケイ・C.K. ボン

稲沢 RC2014～2015 年度会長方針
「輝いて未来に継ごう」

本日の例会プログラム 第2516回例会 5月13日(水)

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰

2014-15年度 第11回理事会 (11：30)

2015-16年度 第4回準備理事会第3回準備委員長会議 (13：30)

第2515回例会報告 4月22日(水) 晴れNo.38

☆点 鐘☆	会長 西村郁夫
☆司 会☆	会場委員長 鶴飼博信
☆唱 和☆	四つのテスト
☆ビジター☆	足立誠君（一宮 RC）
☆会長挨拶☆	会長 西村郁夫



皆様こんにちは。最近円安の影響もあってか、過去最高の外国人の人々が日本全国に買い物やら旅行におしよせたニュースをテレビでよく見るようになりました。今さらながら日本人でよかったと思いつつ(私的見方で)考えて見ました。桜の時期が過ぎ、初夏の季節と移っていきます。日本はいいですね。日本は四季が有り、伝統があり、文化があり、行事があります。その中の全てに和菓子が深く関わっています。やっぱり和菓子関連の話です！！

新年初釜に始まり五節句の行事で1月7日の七草の節句、それから桃の節句に端午の節句、7月7日の七夕様に9月9日重陽の節句まだまだ節分、お彼岸、十五夜に母の日、父の日、敬老と土用に誕生、入学、新築祝い等々変なコマーシャルになってしまいましたが要するに日本は四季折々を楽しむ文化があると言う事でございます。国府宮様の雛追神事も1200年を超える行事であります。

伝統文化、行事全てを引き継いでこられました。

色々な物が西洋化になって行く中、日本に生まれて日本人である事を誇りに思う今日この頃でございます。最後になります、この後4月29日～5月6日と2週続けてしばらくの間お休みでございます。その後5月16日土曜日には春の家族会が開催されます。楽しみにお待ちしております。どうも有り難うございました。

Today's Information～◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆ 報告者：幹事 永井伸治

◆第25回日本ロータリー親睦ゴルフのお知らせ

大会日時：平成27年6月22日(月)午前7時スタート

大会会場：小樽カントリー倶楽部

プレイ代：19,000円程度

参加登録料：16,000円

※ご希望の方は5月15日までに事務局へお申し出ください。詳細も事務局にあります。

◆クールビス期間のお知らせ

クラブ内規の通り5月1日から10月31日までは、クールビスでの例会出席が認められています。

◆2015年5月のロータリーレートは、1ドル＝118円

◆家族会の登録料を、5月20日に預託金から引落させていただきます。(郵便局口座の方)

三菱東京UFJ口座ご利用の方は連絡した通りです。

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 樋田文裕

会員総数	53名	前々回修正	4月 8日
出席	40名	出席	31名
会員数	(内免除者 8名)	会員数	(内免除者 3名)
欠席者数	13名	マークアップ数	7名
	(内免除者 5名)		
出席率	83.33%	修正出席率	88.37%

☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	マークアップ会場
津島	5/29(金)12:30	ツシマワールド会館
名古屋東	6/1(月)	休会(定款6-1)
名古屋北	6/5(金)	休会(定款6-1)
あま	6/8(月)	休会(定款6-1)

今週のマークアップ

樋田克史(あま)、後藤啓行、川合正剛(B.D)、足立三千夫(IAC)、野々部昭男、三輪卓生、高桑宏幸(C.O.M)

☆例会日程☆

5月16日(土)	5月20日(水)	5月27日(水)12:30	6月3日(水)12:30
春の家族会 「ウィーン少年合唱団鑑賞と東急ホテルのお食事を楽しむ」 開演 17:00 食事 19:30	例会日変更(16日～振替) 新会員セミナー むさし乃にて 18:30より 会費5,000円	クラブ・アッセンブリー (地区研修・協議会報告) IAC例会(17:00)	幸福例会 会員表彰 第12回理事会 13:30

◇ ◇ 会 員 組 織 委 員 会 報 告 ◇ ◇

報告者：会員組織委員長 樋田文裕

○100%出席表彰者 (3月末調べ)

成田幸太郎 27年 樋田克史 13年6ヶ月
永井伸治 12年 鵜飼正巳 10年6ヶ月
川合正剛 3年6ヶ月

○在籍表彰

橋本嗣治 45年 金森英夫 41年
伊串惇 41年

○3月中の超過出席者

永井伸治

◇ ◇ 親 睦 活 動 委 員 会 報 告 ◇ ◇

報告者：親睦活動委員長 横井定

○5月の誕生日祝福

樋田克史 6日 金森英夫 18日
伊藤正弘 11日 児島秀光 30日

○会員夫人誕生日

林茂夫 夫人 佐知子 様 10日
伊藤強平 夫人 照子 様 12日
児島秀光 夫人 寿美子 様 22日
栗本貢 夫人 和子 様 26日

○結婚記念日

伊藤彰 8日 三輪卓生 11日
山田典永 11日 伊藤強平 26日

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 (4 月 分) ◇ ◇

報告者：ニコボックス委員長 眞下啓二

4月末累計	2,171,600円
ニコボックス	82,000円
花	21,000円
くじ	23,000円

西村、岡田 スピーカー碧亜希子様をお迎えした喜び

永井 卓話スピーカーにモザイク彫刻家、碧亜希子さんをお招きした喜び

横井 息子の嫁に2人目の子ども、私には4人目の孫が生まれました。男子です。

(ニコボックス委員長より：多額に頂きありがとうございました)

岡田 加藤院長に母がお世話になりました。ありがとうございました

三根 岡田さんにお世話になりました

成田、加藤(健)、荒尾 例会欠席のお詫び

加藤(耐)、横井 業務多忙早退のお詫び

◇ ◇ 春 の 家 族 会 最 終 お 知 ら せ ◇ ◇

報告者：親睦活動委員長 横井定

春の家族会がいよいよ今週末に開催されます。

本日、チケットを配布しましたので当日忘れずにお持ちください。

～ウィーン少年合唱団コンサート～

日時：5月16日土曜日

開場：16：15

開演：17：00

終演：19：00

場所：愛知県芸術劇場コンサートホール

～お食事～

時間：19：30

場所：東急ホテル3階 宴会場 ルネッサンスにて
中華料理

※コンサート終演後、各自で東急ホテルまで移動願います。宴会場入口にてお食事のお席をご案内致します

◇◇卓話：モザイク彫刻家 碧亜希子様◇◇

テーマ「私の背中を押してくれたロータリー」

紹介者：直前会長 岡田義夫



こんにちは。モザイク彫刻家の碧亜希子(あおあきこ)と申します。直前会長でもいらっしゃる岡田義夫さんにご紹介いただき、皆さまの貴重なお時間をお借りして、私の制作活動についてお話させていただきました。

私は神戸大学を卒業した後、兵庫県の2680地区から2002-2003国際親善奨学生にご選出いただき、ギリシャのアテネ美術大学へ留学することができました。

初めての長期海外生活への不安を抱えながらも意気揚々とギリシャへと渡ったのですが、最初に私が直面したのは滞在許可取得という、お役所手続き地獄でした。たらい回し・矛盾・書類紛失・怠慢・差別、思いつく限りの災いが満ちていたのですが、この環境にあって、アテネのロータリークラブ始めアメリカの本部事務局の方々や2680地区の方々、そして日本の教授や家族が奔走してくださり、この大変な国で研究を始める突破口を切り開くことが出来たのです。この後のギリシャでの研究・制作活動も文字通り一本の綱から一本の綱への綱渡りで、どの一つのご縁も欠ければ途中で挫折していたと思うので、突破口というのは大げさではありません。大変感謝しております。ありがとうございました。

突破口を切り開いた後も、途中手違いで不法滞在通告が送られて来て強制送還もしくは逮捕されそうになったり、2005年愛知万博のギリシャ館で通訳兼案内役を務めたりしましたが、現在まで13年間、本当に幸運なことにギリシャと日本を行き来して制作活動を続けさせていただいています。どんな事をして来たか、ご報告いたします。

2002年に国際親善奨学生としてアテネ美術大学に入りダフネ・アンゲリドゥ教授に師事。初めてモザイク制

作の現場というものを目の当たりにしました。道具も石も場所も好きなだけ使って良いと言われた時は、灰かぶりからシンデレラへ変身した女性の心情もかくや、と身震いしました。このダフネ教授とは現在も Facebook で繋がっており、新しい技法への助言や作品の評価をいただいたりしています。

紆余曲折多々ありましたが、結果3年ほどダフネ教授のもとモザイクの技法について真摯に研究・制作しました。2点私の作品が同大学に収蔵され、私の制作に対する姿勢を評価してくださった教授がアテネにあるモザイク工房を紹介してくださいました。

アンドニス・リオニス氏を中心とするそのモザイク工房は、助手が私を含め4人と小規模ですが、ギリシャ正教会からロシア正教会への贈り物として、当時のロシアプーチン大統領に手渡されるモザイク作品を受注制作したり、ギリシャ正教会の大主教が身につけるペンダントトップを制作する他、バチカン博物館にも作品が収蔵されるという、ギリシャでもトップクラスの工房でした。ここで研鑽を積み、教会の壁などに施工するイコンモザイクの中でも一番繊細な顔と手の部分を専任させていただけるようになりました。

深刻な経済危機を迎えて工房での受注が減少したのを機に、3年ほど前に日本へ本帰国して生まれ故郷の稲沢にアトリエを構えました。これから1人、日本で何が出来るだろうかと考え始めてしばらくすると、素晴らしい幸運に恵まれました。昨年春に名鉄津島線勝幡駅の北側広場に設置させていただいた、『水郷の吉法師』の制作依頼をいただいたのです。これを制作させていただいたことで、ギリシャで身に付けた技術をようやく地元に還元できたと安堵すると同時に、職人としてモザイクと向き合ってきた10年間に一区切り付けられたように思いました。

そもそもは彫刻を志し、シチリア島でモザイクに出会いその平和な雰囲気感銘を受け、その後イコンモザイクへと深く入り込みましたが、他の方面にも目を向けてみる気になりました。

気軽にモザイクを楽しんでいただけるような大理石モザイクの表札やコースターなどの用途のあるものや、作り手がまだ少ないモザイクでの立体作品を制作してみたり、大手タイル会社のマリスタ様とのコラボレーションで展示会を開催したり。また、古い瓦を解体業者さんから譲っていただき焼き直してモザイクの素材に使ったり、番外編ではモザイク壁画が取り壊されると聞きつけて待ったをかけ、剥がして持ち帰って来たりと、様々なことに首を突っ込んでいます。

今年は7月に神戸、12月に大阪で個展を開催する他、大規模なモザイク壁画のご依頼等、ようやくぼちぼちとお声がけをいただけるようになってきました。いつまで続けさせていただけるだろうかと危機感には常にありますが、ありがたいことです。

私はモザイクには、見る人に平和を感じさせる力があると思っています。世界遺産にもなっている、シチリアのカザレの別荘の床モザイクが持つ平和な雰囲気を、日本でも表現して伝えて行きたいと願っています。

本場で基礎を学び修行して、実際に職人としてモザイク制作の第一線で仕事をする幸運に恵まれ、色々なことに挑戦できる今があります。この13年間は、最初にも述べさせていただいた通り綱渡りのようでした。その最初の段階で起きた滞在許可の問題は本当に深刻で(実は今思い出しても貧血を起こしそうになります)、ロータリー財団の方々のご尽力が無ければそこで頓挫してしまっていたと思います。大変感謝しております。

とてもお世話になったロータリーでこうして再びお話をさせていただいたことで、また初心に戻ることができました。一歩ずつ新鮮な気持ちで、丁寧に進んで行きたいと思えます。このような機会をいただき、ありがとうございます。



--	--